

オートバイ少女

みのるは父を知らない。

主演 石堂夏央 (新人)
監督 あがた森魚
原作 鈴木翁二
音楽 鈴木惣一朗
プロデュース 山中潤
製作 月刊漫画ガロ、株青林堂、株ツァイト

PHOTO: HITOSHI IWAKIRI

Garo
Cinema

ガロシネマ第一回作品(「月刊漫画ガロ」創刊30周年記念)

オートバイ少女

“おやこだから出会ってるんじゃないんだ、
ほくとみのるだから出会ってるんだ……
……ぼくらがたいせつなお友だちどうじゃケナイのか?”

1994年製作/カラー作品/モノラルサウンド/スタンダードサイズ/35mm/78分
ゆうばり国際冒険ファンタスティック映画祭正式招待作品



あらすじ

生まれたばかりのみのると母を捨てて、去っていった父。17歳になったみのるが、古書店で手にした一冊の本は、かつて父が描いた漫画の本だった。本を開き見たこともないのにわきあがる懐かしい記憶に、みのるは戸惑い、父に会いたいという衝動を押えることができなかった。…そして、過ぎゆく夏の日のある朝、みのるはむかし父が乗っていたY G 1というオートバイに乗って、北海道の函館にひとりっきりでやって来た。

エキゾチックなこの町の何処かに父が住んでいるのだ、そう思うとみのるの胸はドキドキする。父の所在を探すうちに、さまざまな人たちの出会いを経てゆくみのる。だが聞くとこよによれば、現在の父には新しい家庭があり、病弱なひとり娘がいるという。みのるの心は、複雑な想いでかき乱された。



傾きかけた陽射しの中、廃電車を改造したライダーズハウスに帰ってきたみのる。そこにはみのるを待っていた父がいた…。はじめて見る父が…。

傾きかけた陽射しの中、廃電車を改造したライダーズハウスに帰ってきたみのる。そこにはみのるを待っていた父がいた…。はじめて見る父が…。

解説として

つげ義春、水木しげる、蛭子能収、みうらじゆん、など数々のキラ星を送り出した、伝説のカルト漫画雑誌「月刊漫画ガロ」が製作・プロ

デュースする映画の第一弾が、約三年の発酵時間を経て漸う完成!!

「オートバイ少女」の原作は、1973年に「月刊漫画ガロ」誌上に発表された、鈴木翁二の同名作品。この短編漫画は少年浪漫派漫画家・鈴木翁二作品中にあって最も異彩を放つ作品で、中学生の少女がオートバイに乗って海へと走り、桜の咲き乱れるなかを帰ってくるという、ただそれだけのポエティックなストーリーなのだが、たったそれだけの中に少女の脆さ強さ女らしさや可憐さが見えかくれし、読後に少女への思慕が切なくこみ上げてくる秀作である。

その「オートバイ少女」を映画化するにあたり、オートバイの走る背景を北海道の函館に据え、少女の眺める風景の向こうには「少女の父親さがしの旅」という設定を用意して、少女の眼差しと旅程に奥行きを加えられた。

監督のあがた森魚は、少年的ロマンティズム冒険活劇音楽家としてポップ・ミュージック界に独自のアプローチを持ち続けるミュージシャンであるが、第一回監督作品に「僕は天使ぢ



やないよ」(1974年・35ミリ作品)があり、ほかに林海象監督「夢みるように眠りたい」、市川準監督「TUGUMI」などに制作や俳優として参加するなど、監督・俳優としての貌もあわせ持っている。そのあがた森魚が、今回は監督および父親役として出演するのだから興味はつきない。

原作・鈴木翁二、監督・あがた森魚、プロデュース・月刊漫画ガロが、たましいの根っこにチクチクする映画をこの夏、あなたに贈ります。

<みのる>役・石堂夏央

原作者・鈴木翁二と監督・あがた森魚が抱く<みのる>像、「一時少年に近付いた面影がある少女」を求めて一般から広く公募した結果、ス



タッフ総員一致で選ばれた新人女優が<みのる>こと石堂夏央です。

瑞々しく飾り気のない少女<みのる>の成長記であるこの物語は、ひとりの少女・石堂夏央のささやかな成長スナップでもあり、こぼれ落ちた彼女のつぶやきをちりばめた小さなアルバムでもあるのだ。

CDで聞く オートバイ少女 あがた森魚

あがた森魚によるもう一つの「オートバイ少女」鈴木惣一朗(「オートバイ少女」音楽監督)のオリジナルサウンドトラックを中心に、本CD録りおろしのあがた森魚の最新曲5曲、主演の石堂夏央による捜し歌「みのるのテーマ」収録。うたとセリフと音楽のコラージュによる「オートバイ少女」のアナザーワールドをお届けいたします。



8.1
ON
SALE

オートバイ少女/あがた森魚 KTCR1268 ¥2,500(税込)
発売元: 株式会社レコード 販売元: ポリグラム株
問い合わせ: 株式会社エンタープライズ03(3780)8634

10/9(日)→15(土) 京都ロードショー! 10/1(土)→3(日) 連日、朝10:10~& 夜9:10~上映 『エル・マリアッチ』

あがた森魚監督、ガロシネマ第1回作品 ■共通鑑賞券1,200円発売中■ (当日/一般1,500円 学生1,300円(税)) 10/4(火)→8(土) 連日、夜9:10~ レイトショー上映 『イン・ザ・スープ』

『オートバイ少女』連日、夜9:10~ レイトショー上映 ※10/9(日)10(月)15(土)は朝10:10~追加上映あり。 九条大宮・近鉄東寺駅西へ150m 075(661)3993 上映お問合せ=RCS 075(315)7281